



フルーツバスケット



「拓け！夢の扉！」

Challenge to our dreams

式典準備の一つに P T A から寄贈していただく横断幕の作成があります。横断幕は夏休み中に生徒がデザイン案を考え、十二月に保護者の方にも参加していただきながら、投票によりデザインが決定しました。横断幕には

本校は本年度で創立十周年目となりました。来年度に行う記念式典に向け、実行委員会を立ち上げ、委員長には小名木 P T A 会長にお願いしました。また P T A の役員の方々にも参加していただきながら準備を進めています。



『Challenge to our dreams』

校長 木村 則夫

の文字が入ります。デザインで使われている「拓け」は「きりひらく」と、今までのなかったことを始めるなどの意味があり、本校の生徒たちの挑戦する気持ち、保護者の皆様の支えを想い、教職員の願いが込められた、すばらしい横断幕になると期待しています。

1 年間、小名木会長様をはじめとする P T A 役員の方々と、各学年の理事の皆様、保護者の皆様には、本校の教育活動、P T A 活動のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。引き続き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

『ソコヂカラ』があるという信に、その力を発揮し、クレンジングに関する全ての人が必要です。とありました。ですが、本校もチームも違いますが、本校も関わっている一人一人の力を信じて、夢の扉を拓いていけたらと思います。

様々なご縁があり二年振りに会長として活動しましたが、木村校長先生が就任した本年度は学校全体の明るい雰囲気、創立十周年記念事業と相まって醸成され、より活気のある学園を感じることができ、気軽に各種活動に取り組みました。社会情勢が影響し、ありとあらゆるものが高騰するなか、家庭への金銭的な負担を最

コロナ禍を経て日常生活を徐々に取り戻し学校行事も活発に展開されるなか、会員の皆様方には日頃から P T A 活動にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございました。



『一年間の活動を振り返って』

P T A 会長 小名木 健

小限にと様々な配慮と工夫を学校として行ってきたと聞き及んでおり、この場をお借りし感謝申し上げます。

子ども達は桃花台学園での学びのなかで働き続ける経験から学びを得ることが出来ていますが、個を尊重しつつも社会通念を根付かせるには一人ひとりへのきめ細かい指導が欠かせません。常に家庭と連携し子ども達の成長のためにと尽力してくださる各先生方に感謝するばかりです。

後期高齢者がピークを迎

えると言われる二〇二五年問題は各分野で人手不足を顕著にさせ、暮らしや仕事に大きな影響を与えています。次世代を担う桃花台学園の生徒一人ひとりに、責任が重くのしかかりますが、輩出した O B O G の多くが自分らしく活躍していることを見本に、自分のため他者のために、そして社会のために貢献しようという胸を張り羽ばたいてもらいたいものです。そのためにも一度私たち保護者の在り方を見つめ直し、一助として家庭と学校を繋ぐ P T A 活動に更に意欲的に取り組んでいただきたいと思います。皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



※新聞名の由来：笛吹といえは数々のフルーツ。PTAも色々な思いをもった方が集まり、一つにまとまることで価値を高め、より良く運営できるという思いが表されています。

1日目

青春は一度きりの大切な時間です。失敗を恐れず、思い切り挑戦し、自分の可能性を広げてください。友人や家族との思い出を大切に、日々の小さな喜びを見逃さないように心がけましょう。

39人全員の旅

どんな瞬間も、あなたの未来を形作る大切な一部です。楽しんで、そして全力で青春を謳歌してください！

3日目

宮城県公園

ゆいレール

マングローブ体験 (カヤック)

2日目

文化体験

4日目

青春を楽しめ

BBQ

文化体験

文化体験

文化体験

文化体験

桃翔祭

2024 5 18 . 9 14



桃花台ホームページ



リレー



開会式



体育祭



ボール運び



綱引き



大縄跳び



合唱部



太鼓部



美術部



文化祭



模擬店



模擬店

体育祭は、青春のエネルギーが会場に溢れ、
見ている者をワクワクさせる熱い取り組みでし
た。文化祭は4年ぶりに午後の部が「一般開放
」され、卒業生や地域の方などが多数来校され
ました。模擬店が賑わいをみせ、自分たちの考
えたゲームや作った料理が喜ばれる場面を目の
当たりにするにつけ、皆は仲間と作り上げた充
実感を味わえた様子でした。



障害者雇用で就職しても周
囲の理解と配慮を得ながら、
周りの社員と変わらず働いて
いる卒業生やサポートを受け
て転職する卒業生も多いの
事で、卒業後の進路は様々で
すが今回の研修会で少し道筋
が見えたと同時に、まだまだ
課題もあると実感しました。

PTA研修会
障害を受け入れる企業側も、
定期的に面談を行ったり、保
護者と連絡を取ったりと、ま
ずは自分で判断させ、難しい
ときは一緒に考える等、様々
な働きかけをしている事を知
りました。

働くうえで大切に行っている
事・心掛けた事という質問で
は、自分の障害を知ってもら
い受け入れてもらう努力をし
た、自分から話しかけたり相
談をしたりする、言葉遣いに
気を付ける、挨拶はしっかり
する等、働くうえでコミュニ
ケーションが大切であると話
してくれました。各々が目標
や夢をもって、プライベート
も充実させながらメリハリを
つけた社会人生活を送ってい
る様子が窺えました。

卒業後は実際どんな社会人
生活を送っているのか、今回
の研修では4名の卒業生、2
社の企業の方と保護者の方
からお話を伺いました。卒業
生の方は緊張する中でも、
堂々とした姿勢で答えてくれ
たのが印象的でした。



将来に向けて、たくさんの
不安はありますが、子供が自
立した社会生活を送れる様
に、働き方という気持ち
を支えていきたいと思いま
す。そして、障害者が安心
して働ける環境が増えてい
くことを願っています。

印象に残っているのは、困
っていることを自覚し、信
頼できる人に相談し、声に出
して助けをもらうことが重要
で、出来ないことの対処方法
を考えながら、できるように
していくというお話でした。自
分に合った方法で社会と向き
合っていく、そのために何が
できるのかを考える良い機会
となりました。 後藤

今回、「障害者雇用について」
をテーマに講演と、卒業
生や企業で支援に携わって
いる方に直接お話を伺う機会
を頂きました。

編集後記
広報研修部の活動では、学
園祭等の行事での子供達の様
子取材させていただきまし
た。それぞれが一生懸命に取
り組み、楽しく笑顔で溢れて
いる姿を近くで見ることが出来
貴重な時間となりました。

長屋



編集委員

広報・研修部長
長屋 教子
広報・研修副部長
飯久保 幸治
広報・研修委員
久保田 由貴
広報・研修委員
鎌田 智香子
広報・研修委員
後藤 美奈子
広報・研修委員
神津 通子

令和6年度卒業生進路状況

シミックウエル (株) 丸浜舗道 (株)
山梨トヨペット (株) (株) 理想園
(株) NSDワンピース DCM (株)
(株) リバーサイドコーポレーション
住友電工デバイス・イノベーション (株)
旭陽電機 (株) オリジン東秀 (株)
富岳通運ロジスティクス (株)

(株) 山梨イエローハット (株) 清月
(株) 山梨中央銀行 昭和産業 (株)
(株) 電溶産業 (株) 桂精機製作所
ファナック (株) 上野原市立病院

(株) シミズフレッシュデリカ

(株) アサヒ総合サービス 秋山装建

中日本ハイウェイ・メンテナンス甲斐 (株)

キャノンファインテックニスカ (株)

山梨クリナース きららベーカーリー

カップ・クリエイト (株) KEIPE甲府

(株) 八光あかりやベーカーリー

フジコン (株) (株) 山梨さえぎ

コニカミノルタIJPロダクト (株)

(株) 富士のふもと農園